

参加申込要綱

「第14期ビジネスイノベーション研究会」参加申込書

研究会へ参加をご希望の方は小会HPよりお申込いただくか、下記申込書に必要事項をご記入のうえメールもしくはFAXにてご送信ください。

ホームページからお申込みいただけます。

IT協会

検索

<http://www.jiit.or.jp/>

参加費 (1名様・税込み)	区分	参加費
	IT協会正会員／準会員	242,000円
	一般	286,000円

※ 参加費には消費税の10%を加算しております。

※ 2名以上申込み参加の場合は、追加1名につき会員176,000円(税込)、一般209,000円(税込)となります。

※ 現地視察に係る現地までの往復交通費、宿泊代、その他一部費用は各自ご負担となります。

第14期 ビジネスイノベーション研究会 参加申込書 開催期日:2025年11月～2026年3月 (全5回)			
会員区分	☐ IT協会正会員／準会員 ☐ 一般	参加者人数	名
		参加費合計	円
ふりがな			
会社名			
住所	〒		
所属／役職			
申込責任者		E-Mail	
電話番号		FAX	
ご要望記入欄			Pjt: IO315

※請求書は申込責任者様宛てにPDFをメールにて送付致します。それ以外をご希望の方はご要望記入欄にご記入下さい。

ご参加者①		E-Mail	
所属／役職			
ご参加者②		E-Mail	
所属／役職			

お問い合わせ・お申込先	個人情報の取扱いについて	事務局使用欄
公益社団法人企業情報化協会 TEL.03-3434-6677 FAX.03-3459-1704 〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-22 日本能率協会ビル 3F Homepage: http://www.jiit.or.jp E-Mail: entry@jiit.or.jp	公益社団法人企業情報化協会(IT協会)は、個人情報の保護に努めております。詳細は小会のプライバシーポリシーをご覧ください。今回、ご記入いただきました皆様の個人情報は、本催し(カンファレンス・セミナー・研究会)に関する確認・連絡および各種諸手続きのため機密保護契約を締結した業務委託先(事務局協力会社および郵便物発送業者)に預託することがありますのであらかじめご承知おきください。	

公益社団法人企業情報化協会

第14期

ビジネスイノベーション研究会

～デジタル時代のビッグデータ利活用によるビジネス革新～

2025年11月-2026年3月 (全5回)

■研究テーマ

データ利活用に係る法制度と技術動向

データと生成AI利活用に係るガバナンス

イノベーション経営

AI人材の育成／テキストデータ×生成AI

生成AI・AIエージェントの利活用と未来

データの利活用／データマネジメントの推進

■参加対象

情報システム部門責任者

情報システム機能子会社責任者

ITベンダー企業のご担当者・責任者

第14期

ビジネスイノベーション
コンソーシアム
企画委員会委員長

楽天グループ株式会社
専務執行役員 CIO & CTO
黒住 昭仁氏



コーディネーター

DACコンサルティング
代表・コンサルタント
データサイエンティスト
ファイナンシャルプランナー
入江 宏志氏



公益社団法人企業情報化協会

開催にあたって

デジタル技術の進化とともに、ビジネス環境はかつてないスピードで変化しております。AI、IoT、クラウド、生成AIなどの発展により、膨大なデータから価値を見出し、経営や事業戦略に活かす「データ活用力」が、いまや企業の競争力を左右する中核的な要素となっております。

企業が持続的に成長し、変化に対応していくためには、データを基盤とした意思決定や業務プロセスの最適化を進めるとともに、デジタル技術を活用した新たなビジネスモデルの創出が求められています。単なる技術導入にとどまらず、現場に根ざした課題解決力や、部門を超えたデータ利活用の仕組みづくり、そして人材育成を含めた組織変革の推進こそが、真のイノベーション実現の鍵となります。

本研究会では、データ活用を軸に、イノベーションを創出するための多角的な視点や実践事例を取り上げ、今後のデジタル社会における新たな可能性を多方面から探ります。有識者による講演や先進的な事例紹介を通じて、デジタル技術を活かした新たな価値創造の方向性を見出し、本研究会が参加者の皆さまにとって新たな発想と交流を通じた共創の契機となり、次代を切り拓くイノベーション創出への一助となることを心より願っております。

第14期 ビジネスイノベーションコンソーシアム企画委員一覧		
研究会の具体的な研究項目・内容については、小会より委嘱されたビジネスイノベーションコンソーシアム企画委員会において検討頂き、取りまとめて頂きました。		
○委員長 黒住 昭仁	楽天グループ株式会社 専務執行役員 CIO (Chief Information Officer) & CTO (Chief Technology Officer)	
○委員 土田 正道 齋藤 祐介 滝沢 太 新城 功久 鳴島 浩 松澤 豊 水原 祥光 加藤 雅史 嶋田 基史 高橋 信 中島 亜弓 山崎 恭弘 林 隆広	株式会社IHIエスキューブ ES統括部 担当部長 アカチセ株式会社 代表取締役 アセットマネジメントOne株式会社 テクノロジー部 部長 味の素株式会社 DX推進部 先進ITグループ シニアマネージャー 株式会社アトラスシー 取締役 経営統括本部 副本部長 経営統括本部 技術管理部長 株式会社インフォメーション・ディベロプメント シニア・リレーションシップ コンサルタント マネージャ イソワ商事株式会社 営業本部 システム部 執行役員 株式会社wash-plus 取締役 (開発責任者) SCSK株式会社 技術戦略本部 部長付 日本AMD株式会社 コマーシャル統括本部 統括本部長 NRIシステムテクノ株式会社 取締役 事業企画室長 NTTドコモビジネス株式会社 BS本部 事業推進部 事業推進部門 担当課長 NTTドコモソリューションズ株式会社 エンタープライズソリューション事業本部 データマネージメントソリューション部 ソリューション開発部門 BI/DWH開発担当 担当部長 株式会社NTTデータ数理システム プリンシパルコンサルティングセールス アカデミックパートナー MS&ADシステムズ株式会社 サーバ・クラウド基盤部長 株式会社MTI 船舶物流技術グループ ESG活動支援チーム チーム長 株式会社オージス総研 技術部 AIソリューションセンター長 オリックス銀行株式会社 IT・デジタル部門 管掌役員補佐 カース株式会社 営業部 副部長 関西電力株式会社 IT戦略室 IT企画部長 株式会社関電システムズ ソリューション本部 テクニカルラボ 部長 株式会社シーエーシー 取締役兼業務担当執行役員 大和ハウス工業株式会社 執行役員 デジタル戦略担当 DACコンサルティング 代表 コンサルタント、データサイエンティスト、ファイナンシャル・プランナー Checkout株式会社 日本カントリー・マネージャ 株式会社社長大 事業戦略推進統轄部 クオントム推進部 部長 TIS株式会社 IT基盤技術事業本部 フェロー 帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 デジタルメディアグループ長 鉄道情報システム株式会社 第一営業企画部 担当部長 株式会社電通グループ 電通信イノベーションイニシアティブ ディレクター 東京海上日動システムズ株式会社 営業戦略推進本部 営業ソリューションサービス部 担当部長 東京ガスネット株式会社 常務執行役員 日本アイ・ビー・エム株式会社 IBMコンサルティング事業本部 金融サービス事業部 金融ビジネス・ソリューションズ 部長 日本システム技術株式会社 デジタルイノベーション事業本部 第二事業部ビジネスソリューション部 部長 株式会社日本総合研究所 創発戦略センター シニアスペシャリスト 日本電気株式会社 デジタルトラスト推進室 プロフェッショナル 株式会社日本能率協会総合研究所 社会イノベーション研究事業本部 交通研究部 部長 日本ヒューレット・パッカード合同会社 ハイブリッドソリューションズ 事業統括本部 担当部長 株式会社日立製作所 経営戦略統括本部 コミュニケーション戦略部 Lumada Innovation Hub DX Producer 株式会社プラスアルファ・コンサルティング HRソリューション本部 タレントパレット事業部・執行役員 みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 先端技術研究部 部長 三井E&Sシステム技研株式会社 DX推進部 部長 三菱HCキャピタル株式会社 デジタル戦略企画部 部長 株式会社ミラライト・ワン・システムズ デジタルイノベーション事業本部 本部長 明治安田生命保険相互会社 執行役員 情報システム部長 株式会社Re-grit Partners コンサルティング事業 Managing Director 理研ビタミン株式会社 草加工場 生産技術課 生産技術係 係長 立教大学 経営学部 特別専任教授	
湯淺 麻紀子 萩原 克也 前田 佳彦 野々峠 裕文 広瀬 義行 本橋 真美 巽 龍太 坂入 啓一 鈴木 貴博 川口 正起 入江 宏志 佐々木 典子 高野 秀隆 末 浩二郎 井上 匡人 八城 光則 鈴木 淳一 佐藤 信二 秋元 一博 松丸 剛		
渡邊 士一郎 若目田 光生 小柳 和也 上原 穂高 吉岡 祐 浅見 真人 下村 真由 野田 純也 多賀 洋志 富士本 州勇 郷 宏行 前田 宏明 菊田 邦秀 石川 照人 佐々木 宏		

(社名・団体名50音順、敬称略)

各回の基本スケジュール		
14:00～14:10	コーディネーターによる課題提起	※第1回・第5回会合終了後に 参加者交流会（懇親会）を開催致します。
14:10～14:55	ゲストスピーカーによる講演 (1)	
14:55～15:05	休憩	
15:05～15:50	ゲストスピーカーによる講演 (2)	
15:50～16:55	ディスカッション・情報交換・発表・質疑応答	
16:55～17:00	コーディネーターによるまとめ	※各会合の詳細につきましては、 開催10日～1週間前までを目処に、 ご参加者様へメールにてご案内いたします。

各回プログラム・内容

プログラム内容は変更となる場合がございます。
プログラムテーマは一部仮題を含みます。

第1回 11月25日(火)	データとAIが拓く価値創造とガバナンス	(ハイブリッド開催)
『データ利活用に向けた法制度と技術動向』		『「データと生成AIの活用」とガバナンスのバランス —KDDIが取り組む“3つのガバナンス”とその実践』
データとAIが好循環を形成するデータ駆動社会を構築することを目的にデータ利活用に関する制度整備を行うことが閣議決定されました。中核論点はデータ連携と個人情報保護法の改正、及びそれを支えるデータガバナンスの在り方です。本講演では、主にパーソナルデータの利活用に係る制度の動向、及びデータの安心・安全な連携を実現する切り札として期待されているPETs(Privacy Enhancing Technologies)を中心に関連技術の動向を解説します。		生成AIとデータドリブンを軸に、事業拡大と新たな価値創出を目指すKDDI。その取り組みを支えるのが、「プライバシー」「AI」「データ」の3領域におけるガバナンス体制です。本講演では、KDDIが取組むガバナンスの事例をご紹介します。
株式会社日本総合研究所 創発戦略センター シニアスペシャリスト 若目田 光生氏		KDDI株式会社 Data&AIセンター プライバシーガバナンスグループ グリープリーダー 山崎 晃弘氏

第2回 12月18日(木)	未来を創る経営と人材が導く組織進化	(オンライン開催)
『品質経営(QMS)からイノベーション経営(IMS)へ』		『村田製作所におけるAI人材育成の事例紹介』
2024年9月、ISO56001発行により価値創出を実現する新しい経営の時代が到来しました。工業経済時代、ITは標準化・効率化のための管理ツールでした。しかし今、スマート×都市×農業×医療×工場が示すように、DX/AIは産業そのものを再定義する力を持ち、変革に乗り遅れた企業は一瞬で淘汰されます。ISO56001が示すイノベーション経営システムの実践こそ、企業が未来への扉を開く鍵となるのです。		村田製作所では2019年よりNTTデータ数理システム様との協業により、体系的なデータサイエンス教育を展開し、100名超の実務者を育成してまいりました。本講演では、教育プログラムの設計思想、効果的な実施手法、具体的な成果事例をご紹介します。また、生成AI技術を活用した教育アプローチについても実践例を交えてお話しいたします。
一般社団法人Japan Innovation Network 代表理事 仙石 太郎氏		株式会社村田製作所 技術・事業開発本部 共通基盤技術センター 設計プロセス開発部 企画課 マネージャー 徳本 直樹氏

第3回 2026年2月5日(木)	顧客起点の生成AIイノベーション戦略	(オンライン開催)
『テキストデータ×生成AIによる 潜在ニーズ発掘と 顧客起点イノベーションの実現』		『生成AI・AIエージェントの利活用と未来』
従来のテキストデータ(VOC・VOE等)を、生成AIやテキストマイニング等の最新技術と掛け合わせることで、顧客自身も気づいていない潜在的なニーズや、未来の需要を内包するデータへと進化させます。進化させたデータから、顧客の深層心理を反映したAIペルソナを生成することで、企業のイノベーションの推進と、持続的なイノベーション基盤を構築させます。		ChatGPTやGemini, Claudeに代表されるLLMやそれらと実データを連携させたAIエージェントがわが国でも多く見られるようになり、様々な事業シーンで活用されています。基本的な考え方やその構造、近い将来に向けた考え方などを皆様と共有できればと存じます。
株式会社プラスアルファ・コンサルティング マーケティングソリューション本部 副部長 早田 健人氏		一般社団法人サステイナビリティ・DX推進協議会 代表理事 藤田 祐介氏

第4回 2月20日(金)	現地視察(福岡県北九州市)
Special Program 『北九州に見る地域創生とDXの最前線を探る!』	
○地域創生ラボ ○北九州市ロボット・DX推進センター ○OTOミュージアム	

第5回 3月5日(木)	データが創る企業競争力とDXビジョンの未来	(ハイブリッド開催)
『楽天グループのデータ利活用について(仮)』		『挑み続ける、関西電力。 ～AI産業革命後のDXビジョン実現に向けた データマネジメントの推進～』
※講演テーマ・内容は現在調整中です。 決定次第、小会ホームページ等でお知らせいたします。		関西電力では、2030年頃にAI産業革命が起こることを見据え、DXビジョン・ロードマップ・戦略を再構築しました。DXビジョンでは、事業DXとオフィス業務DXの実行に必要なとなる基盤(土台)として、DX人材育成、AIガバナンスに加えて、データマネジメントの推進に取り組んでおります。今後もDXを加速し、生産性向上と価値創出を図ることで、当社グループの圧倒的競争優位の確立と持続的成長を実現してまいります。
楽天グループ株式会社 執行役員 AIサービス統括部 ディレクター 大越 拓氏		関西電力株式会社 IT戦略室 理事 IT戦略室長 上田 晃穂氏